

東京学芸大学国語教育学会  
2022年度 第5回例会のご案内

あつという間に10月が過ぎ去ろうとし、秋の深まりを感じる毎日です。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。実りの秋を迎え、第5回の例会のご案内をすることになりました。今回の例会では、実践報告と研究発表、合わせて2本のご発表があります。多くの先生方にご出席いただき、活発な議論や学び合いを生み出していきたいと思います。会員の皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 思考力・想像力を育てる言葉の学び

日時 2022年11月5日(土) 14:00~16:10

会場 ZOOM会議室(オンライン)

ミーティングID 896 5544 6365

セキュリティパスコード 32nqwD

<https://us06web.zoom.us/j/89655446365?pwd=eHF6NlZPZWVBUHlKV0k3bWR2dHl1Zz09>

時程	14:00~	開会
	14:10~15:00	実践報告 「理由の書かれ方を読み、その意図を考える説明的文章の学習」 東京学芸大学附属小金井小学校 橋浦龍彦 先生
	15:10~16:00	研究発表 「自己説明文を書くことの教育的意義についての実践的検討 —小学4年生の「自分説明文」の分析を通して」 相模女子大学 成家雅史 先生
	16:00~16:10	事務連絡 閉会

実践報告

「理由の書かれ方を読み、その意図を考える説明的文章の学習」

東京学芸大学附属小金井小学校 橋浦龍彦 先生

筆者は、どのようなことばや視点で理由を書いているのか。なぜそのような理由の書き方をしたのか。文章を多面的に読み、理由の書かれ方や、その意図を考えることに挑みます。書かれ方についての子どもの学びを考えていきたいと思ひます。

本発表では、小学校2年生「おにごっこ」の実践についてお話させていただきます。ご指導よろしくお願ひいたします。

研究発表

「自己説明文を書くことの教育的意義についての実践的検討—小学4年生の「自分説明文」の分析を通して」  
相模女子大学 成家雅史 先生

小学校では自分のことを説明する文章を書くということは、管見によれば、あまり行われていない学習指導であろうと推察する。それは、メタ認知の発達とも関連しているかもしれないが、教科書に事例がないということもあるだろう。一方で、大学入試の多様化に伴い、いわゆる「自己推薦文」のように自分の特性とそれに関するエピソードを書くということが求められる高校生は多い。小学生の段階で、自分を対象として文章を書くということは、どのような教育的意義があるのか。実践を通して検討してみたい。

不十分な研究ですが、皆さまからのご教示を賜りたく発表いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

参加費 無料 ※学会員の方は年会費(一般3000円、学生2000円)をいただきます。  
※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせしています。

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 [ueshin@u-gakugei.ac.jp](mailto:ueshin@u-gakugei.ac.jp))までお願いいたします。
- ・第6回例会は、1月29日(日)にオンライン(zoom会議室)にて行います。